

SEA TRIAL

STYLISH GUY

RYCK 280



2021年秋に発表され、すぐさま数々のヨーロッパの国際的なアワードを受賞した注目の一艇「RYCK 280(リック280)」がいよいよ日本初上陸を果たした。精悍でスタイリッシュなエクステリア、充実したインテリアなど、その魅力は見ただけでもひしひしと伝わってくる。ドイツでデザインされ、隣国ポーランドで生産されるモダンなディクルーザーは、走りもただ者ではない。浦賀沖で行ったシートライアルで、その素晴らしいマニューバビリティを体感した。

text: Atsushi Nomura photo: Makoto Yamada
special thanks: WINCKLER <https://yacht-w.com>



ドイツデザインのスタイリッシュ&ラグジュアリーなモダンデイクルーザー トップスピード40ノットを狙うニューカマー「RYCK 280」がいよいよ日本上陸

ドイツ北東部、バルト海に注ぐリック川の河口に位置する港湾都市グライフスヴァルト (Greifswald) は、古くからハンザ都市として栄えた街。この街に1990年に創業したセールボート&プレジャーボートビルダーが「HANSE YACHTS (ハンゼ)」である。創業者のMichael Schmidtは、著名なヨットレーサーで、1985年の外洋ヨットレース Admiral's Cup (1957 ~ 2003年) に優勝したドイツチームの一員だった人物だ。

その後、HANSE YACHTSは着実にヨーロッパでも有数のセールボートビルダーに成長。そして21世紀に入るとノルウェーの「FJORD (フィヨルド)」、イギリスの「MOODY (ムーディー)」、ドイツの「DEHLER (デヘラー)」を相次いで買収し、2011年には投資持ち株式会社 AURELIUS の傘下となり現在に至る。拡張路線はいまも続いており、2012年にはイギリスの名門ボートビルダー「SEALINE (シーライン)」を買収。かつてのセールボートメーカーというイメージから脱却し、現在ではヨーロッパでも屈指の総合的なボートビルダーとなっている。



そんな HANSE YACHTS が2021年に起ち上げたニューブランドが「RYCK (リック)」である。ブランド名の「RYCK」は市内を流れる Ryck 川から取られている。その最初のモデルが、今回紹介する「RYCK 280」だ。

このモデルは2021年9月に行われた Cannes Yachting Festival 2021 でワールドプレミアを迎えた。COVID-19の影響によりヨーロッパ各地のボートビルダーでスタッフ不足やパーツの供給不足による製造工程の遅れが聞かれるが、一方で好調なブランドは大幅に受注を伸ばしている。オーダーから納品までのスケジュールも COVID 前後で大きく変わっているが、RYCK の場合、デビューからほぼ1年で日本に初上陸を果たすことができた。今回紹介するモデルは RYCK 280 の日本1号艇となる。

*

精悍な印象を与えるエクステリアは独特だ。近年のヨーロッパのボートに多い立ち上がったバウシステムには水線長を伸ばしスピードを稼ぐ効果があるが、ステムが逆傾斜し水面下が突き出た RYCK の「リバーズバウ」



精悍な印象のエクステリア。デッキレイアウトはフルウォークアラウンド。ほぼフルオプションに近い仕様で多彩な装備にあふれている。大型T-top、ウォータースキーアーチなども装備されている。



フォアデッキの大型サンベッドはサンシェードで覆える。アフトコックピットのベンチはバックレストをリクライニング可能。フルフラットのサンベッドにも可変だ。BBQコンロ仕様のウェットバーも搭載されている。

は、荒れた海でも高い安定性と走破性を約束する。アンカーローラーからアウトボードまで含めた全長9.16mに対して全幅2.81mとビーミーな船体は、ロー&ワイドなシルエットと高速性に寄与している。船底にはしっかりとしたダブルステップが刻まれており、ワイドビームながらも外観は

かなりシャープな印象。そして2.07tonの排水量にシングルアウトボード、SUZUKI DF300 (300馬力) がマウントされている。

今回の艇はほぼフルオプションに近い状態で、非常にスタイリッシュかつ豪華な装備にあふれている。ブラックカラーの大型TTopに、同じくブ



シングルアウトボードはSUZUKI DF300を搭載。パワーステムが逆傾斜した独特の形状の艇体で、深めのVハル、さらに深めのダブルステップが切られており、まるでパフォーマンスボートのようだ。



ヘルムステーションは、2面のSIMRAD 12インチディスプレイ、シフトレバーの他、トリムタブ、パワースラスター、オートパイロットのリモコンが備わる。L字型ベンチシートの下には冷蔵庫を設置。巧みな省スペース設計だ。

ラックでパウダーコートされたパイプやハンドレール、クリートが精悍なフォルムを強調する。デッキレイアウトはフルワークアラウンド。スィミングプラットフォームを含むデッキ全面にノンスリップ加工された人工チークが張られる。全幅いっぱいのスィミングプラットフォームは乗降に充分な広さで、オプションのウォータースキーアーチも装着している。

アフトコックピットは後部にL字型ベンチを配置。バックレストはリクライニング可能だ。中央にはウッドテーブルをセットでき、テーブルの上にパッ

ドを置けば広いサンラウンジャーにアレンジできる。その前、ドライバーズシートの後ろ側はBBQコンロ仕様のウェットバー。L字ベンチ下には冷蔵庫もあり、少ないスペースを巧みに活かしている。オプションの温水システムによりアフトデッキでは温水シャワーが使える、さらにトランサムの水中にはアンダーウォーターライトが奢られ、マリーナステイの夜を華やかに演出してくれる。

コックピット中央やや右寄りに2連シートが並んでおり、右側がドライ



ヘッドクリアランスが充分にあり、温かみのあるカラーのインテリア。Vバースの他、左舷に電子レンジを配置したカウンターがある。右舷には個室ヘッドが設けられている。

バーズシートとなる。2連シートの両側下にはシューズボックスにもなるストレージがある。ヘルムステーションは、正面に2面の12インチSIMRAD航海計器ディスプレイ、ステアリングホイール右側にSUZUKIのシフトレバーとエンジンデジタルメーター、トリムタブのスイッチパネルが並び、左側はパウスラスタのスイッチパネルとSIMRAD製オートパイロットのコントローラー、各種スイッチ類が配置されている。

コクピットからフォアデッキへはステップを2段上がる。両舷のブルワークトップは頑丈なサイドレールに囲まれ、波のあるコンディションでも安全に移動できる。フォアデッキ中央には大型サンベッドが配置されており、最前部に追加パッドを差し込めばパウスブリットまでフラットにつながる。そしてさすがと思われたのがサンシェードだ。TTopの前端からサンベッド全体を覆い、快適な日陰を作ることができる。ロープを固定するポールにはローラブロックとクリートが付けられており、セールポートメーカーらしい細かなこだわりによりニヤリとさせられる。

キャビン仕様の室内も意匠に富んでいる。ヘッドクリアランスは外見から予想される以上にあり、左舷側に電子レンジをビルトインしたカウンター、右舷側にヘッドコンパートメントが配置されている。前部はVパースとなっており中央にマットを配置すれば大型のダブルベッドとなる。ブラウンウォールナットのフロア、明るいオークのカウンターとヘッドボード、そしてベージュのマットレスのカラートーンも品が良く美しい。



多少の波のあるコンディションの中、ストレートでのトップスピードは37.9ノットをマーク。35ノット前後でのスラロームもこなせるハイポテンシャル。素晴らしいマニューバビリティを体感した。



シートライアルを行ったのは、三浦半島の先端、浦賀にあるシティマリーナヴェラシスの沖合い。多少の波はあったものの、風はなくまずまずのコンディションだった。まずは20ノット前後でスラローム。ややステアリングが重いと思った以上の旋回性能で実に楽しい。さらにスピードを上げていく。25ノットでも似たような印象だったが、30ノットを超すとステアリングが軽くなり、スラロームが格段に楽になる。さらに35ノットを超えた状態でも驚くほど軽快に動く。挙動が低速時からあまり変わらず、スピード感があっても怖さを感じることはない。さすがに急旋回は30ノット程度まで落としたが、素晴らしいマニューバビリティを体感できた。

続いてストレートでのトップスピードをテスト。搭載されたGPSのデータでは最高37.9ノットをマークした。この日はトリムタブを使用せずアウトボードのトリム変更だけで操船したが、トリムタブを使えばもう少しスピードは伸びるだろう。また個人的には別のプロペラでもテストをしてみたいと思った。まだまだポテンシャルはあるように思う。

今回の艇の搭載エンジンはSUZUKI DF300だったが、本国のエンジンリストはMERCURYがスタンダードで、MERCURY Veradoの250馬力と300馬力が用意されている。どちらのエンジンもブラック、ホワイトの2色からチョイス可能だ。またRYCK 280には「MyRYCK Safety Cloud」とい

うスマートフォンのアプリケーションを使った監視機能も備わっている。航行記録、バッテリーの状態、燃料レベルなどのほか、離れた状態でRYCK 280が移動した場合にはアラームが鳴るなど、最新のセキュリティサービスが提供されている。

実に先進的で、さらなるポテンシャルを感じさせるオープンポートRYCK 280。随所に細かなこだわりを見せる魅力的な一艇だ。ヨーロッパで、デビュー初年度から数々の国際的なアワードを受賞しているのもうなずける。日本でも、時にのんびり、時にフルスロットルで、真夏の海を堪能させてくれるだろう。**P.B.**



RYCK 280

全長 9.16 m
 全幅 2.81 m
 喫水 0.91 m
 重量 2.07 ton
 エンジン SUZUKI DF300
 最高出力 300 HP
 燃料タンク 300 L
 清水タンク 88 L
 問い合わせ先 ウィンクレル TEL: 045-681-0104
<https://yacht-w.com>



YouTube



YouTube